



久留米市セーフコミュニティ 防災対策委員会

発表日 2022年 12月 21日
発表者 防災対策委員会委員長 古賀 文雄
所 属 久留米市まちづくり連絡協議会



1-1.防災対策委員会の設置の背景

★客観的データ



筑後川浸水ハザードマップ



道路冠水注意マップ



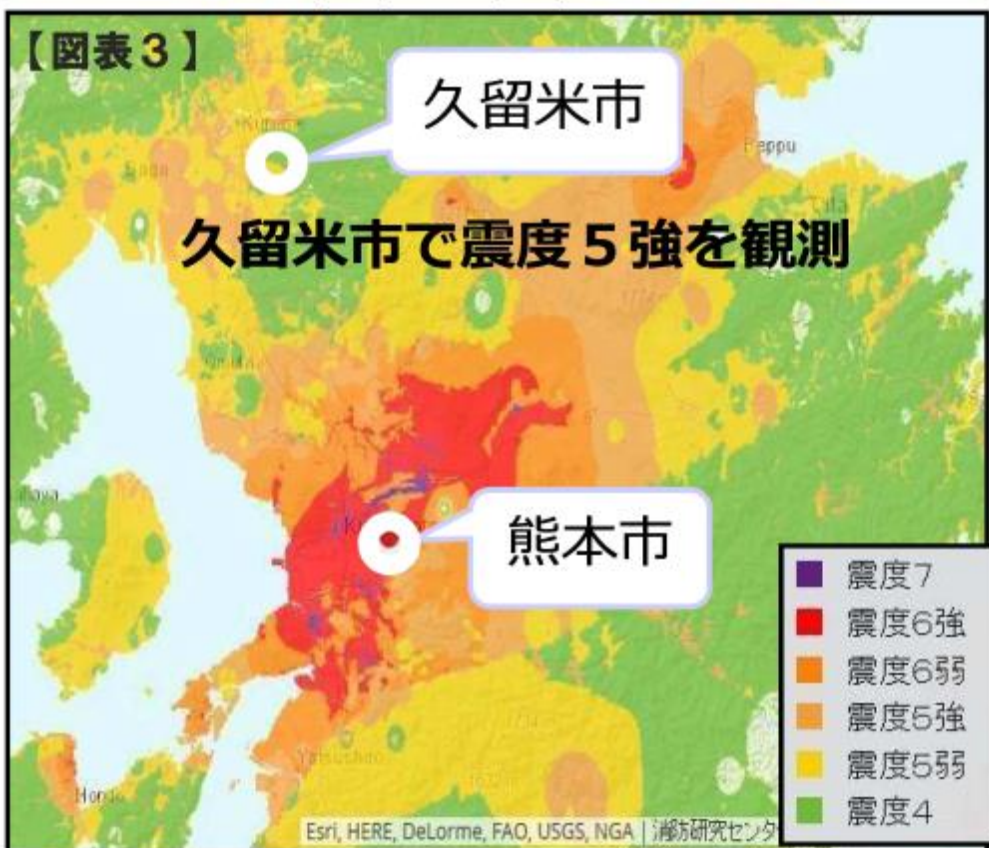
- ・ 浸水想定エリアは久留米市内の広範囲に及ぶ
- ・ 4年連続、内水氾濫に見舞われている

1-2.防災対策委員会の設置の背景

【地震】熊本地震の発生

2016年4月14日(前震)・16日(本震)

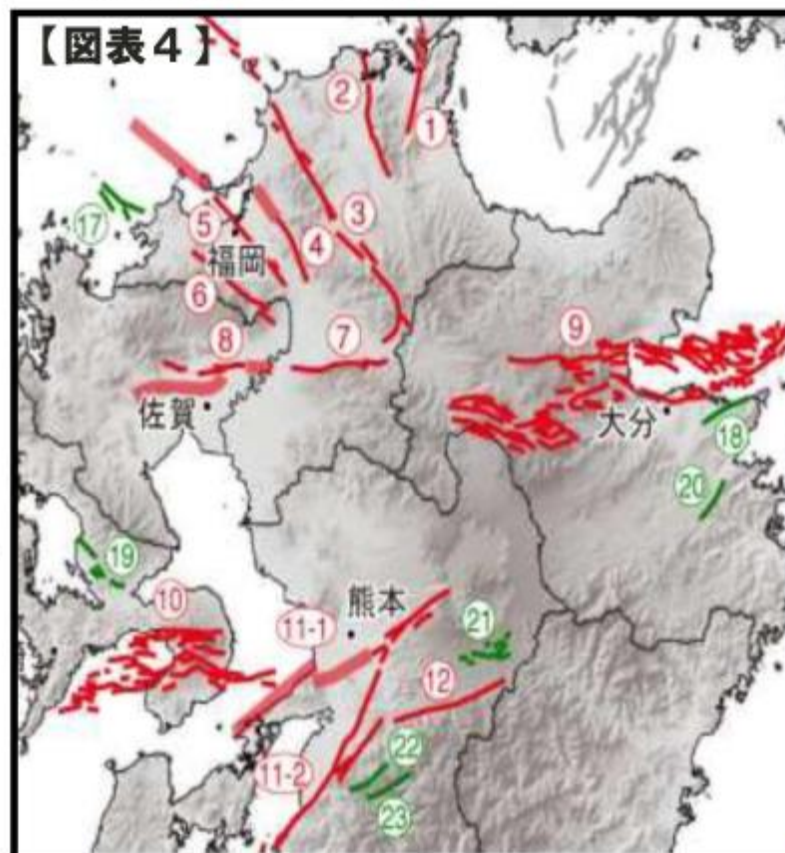
【図表3】



【地震】九州北部の活断層

(出典：地震調査研究推進部)

【図表4】



- ① 小倉東断層
- ② 福智山断層
- ③ 西山断層帯
- ④ 宇美断層
- ⑤ 警固断層帯(南東部)
- ⑥ 日向峠一小笠木峠断層帯
- ⑦ 水縄断層帯
- ⑧ 佐賀平野北縁断層帯
- ⑨ 別府一万年山断層帯
- ⑩ 雲仙断層帯
- ⑪-1 布田川断層帯
- ⑪-2 日奈久断層帯

1-1.防災対策委員会の設置の背景

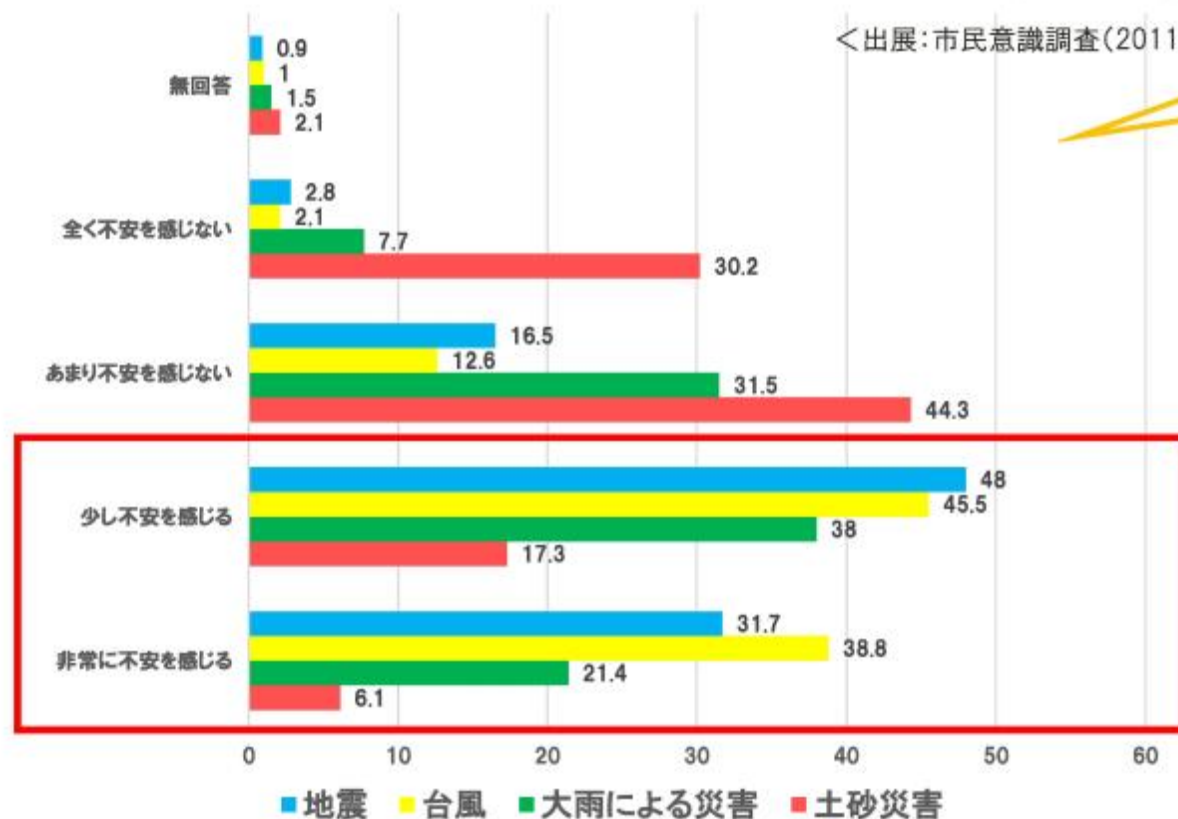
★客観的データ

＜2011年取り組み開始時＞

災害に対する不安感

【図表5】

＜出展：市民意識調査(2011年)＞



市民の災害に対する
不安感が高い

不安感を減らすため
取り組みの強化が必要

セーフコミュニティで
災害に備える！

1-2.防災対策委員会の設置の背景

大規模災害時には行政による支援や、水や食料の調達が行き届かない



① 2011年 東日本大震災

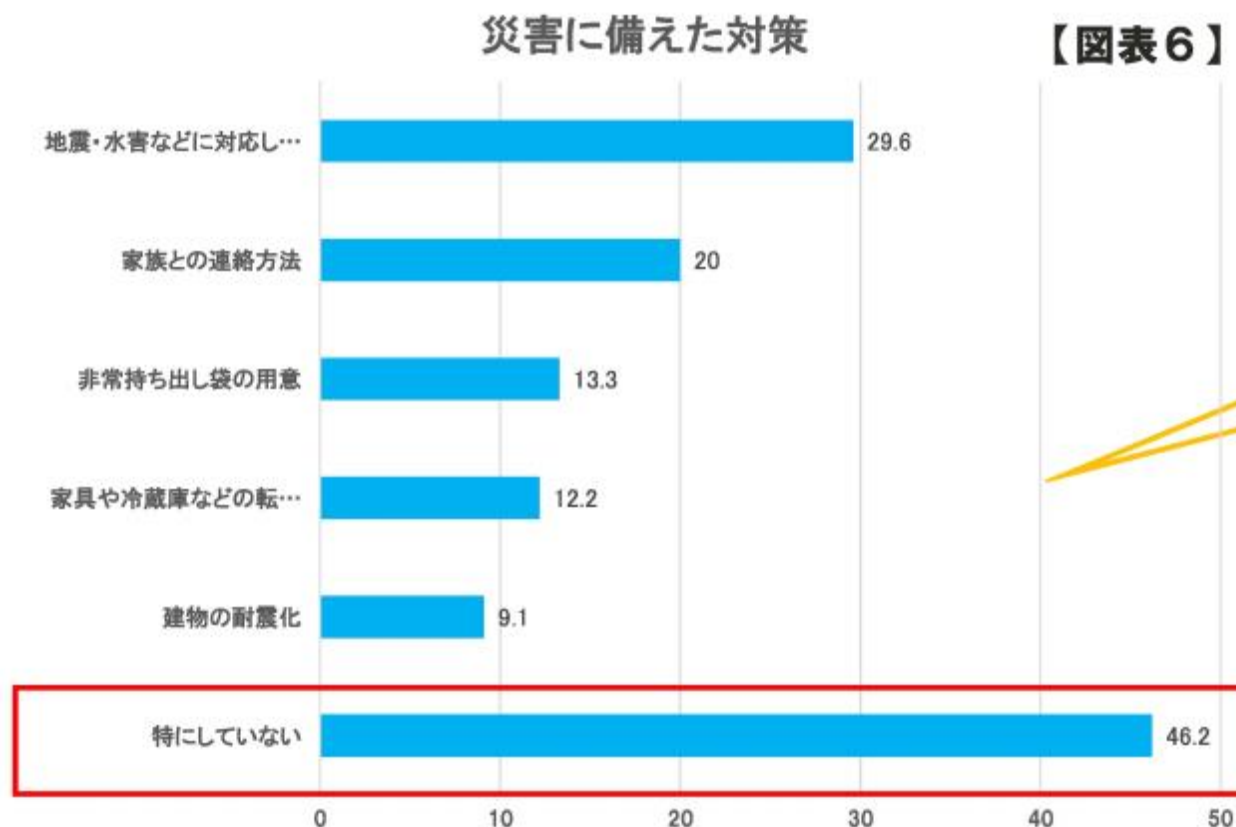


② 2020年 台風10号
避難所の様子



③ 2012年 九州北部豪雨

1-3.防災対策委員会の設置の背景



<出展：市民意識調査(2011年)>

★主観的データ

<2011年取り組み開始時>

市民の多くは
災害に不安を感じている！

しかし、市民の半数近くが災害に
対する対策をとっていない

協働で防災力の向上に取り組む
ことで市民の安心感が高まる！

2012年(H24)3月
防災対策委員会設置

2.防災対策委員会の構成メンバー（2022年現在）

【図表 7】

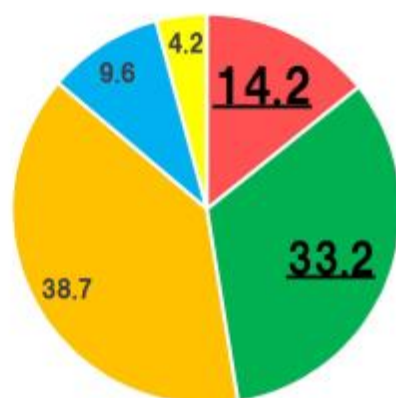
区 分	NO.	所 属
関 係 団 体	1	久留米市校区まちづくり連絡協議会
	2	久留米市民生委員児童委員協議会
	3	福岡県防災士ネットワーク久留米支部
	4	久留米市消防団
	5	（社福）久留米市社会福祉協議会
警 察	6	久留米警察署（警備課）
消 防	7	久留米広域消防本部（救急防災課）
行 政 機 関	8	久留米市健康福祉部地域福祉課
	9	久留米市総務部防災対策課

3-1.データに基づく課題

<出展：市民意識調査(2021年)>

災害に対して不安を感じている人は増加している

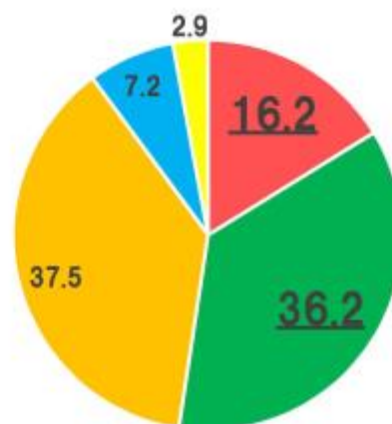
2014年度 【図表8】



不安を感じる 14.2
やや不安を感じる 33.2
あまり不安を感じない 38.7
不安を感じない 9.6
無回答 4.2

不安を感じている人の割合
47.4%

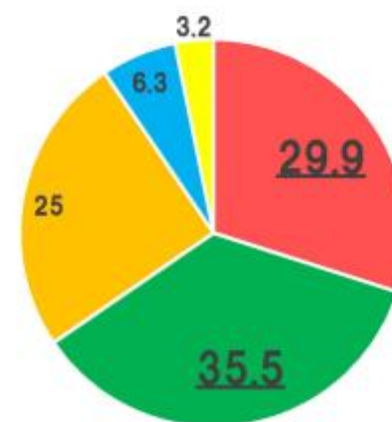
2017年度 【図表9】



不安を感じる 16.2
やや不安を感じる 36.2
あまり不安を感じない 37.5
不安を感じない 7.2
無回答 2.9

不安を感じている人の割合
52.4%

2021年度 【図表10】



不安を感じる 29.9
やや不安を感じる 35.5
あまり不安を感じない 25
不安を感じない 6.3
無回答 3.2

不安を感じている人の割合
65.4%

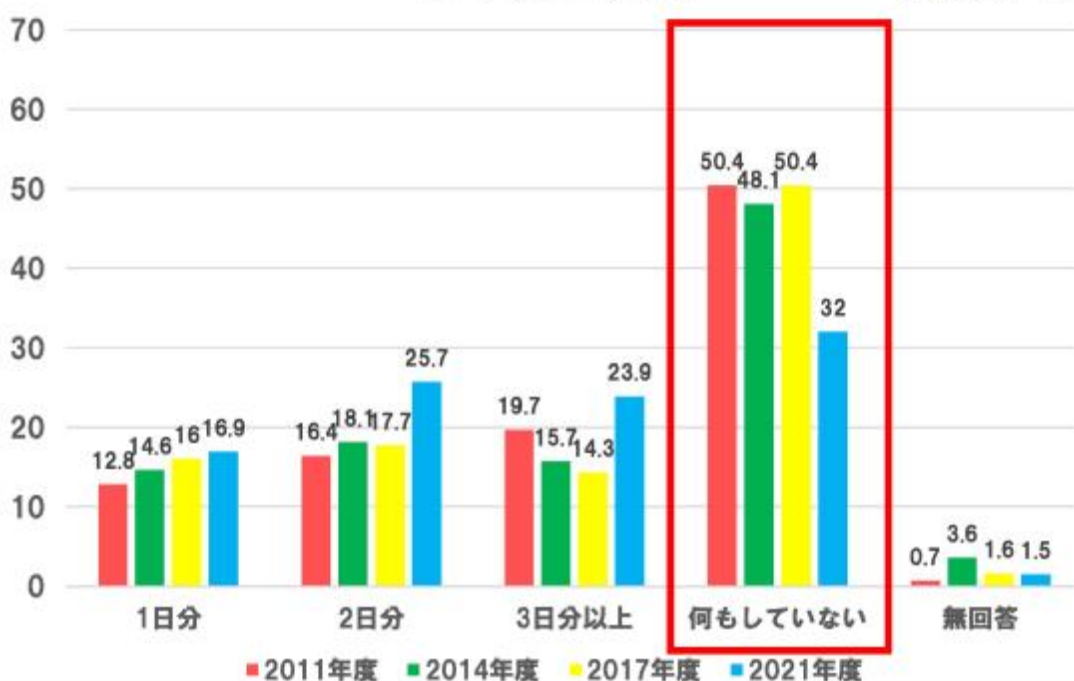
3-2.データに基づく課題

<出展:市民意識調査(2021年)>

頻発する災害を受け徐々に上昇はしているものの、
水・食料の備蓄は「何もしていない」人の割合はまだまだ多い

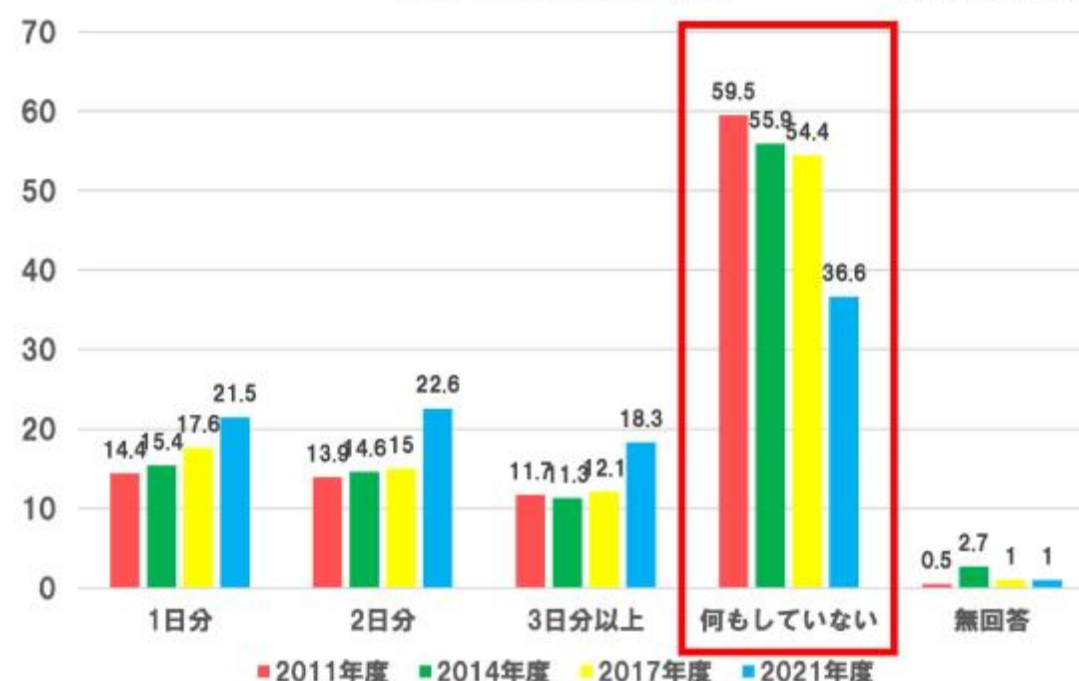
水の備蓄状況

【図表11】



食料の備蓄状況

【図表12】



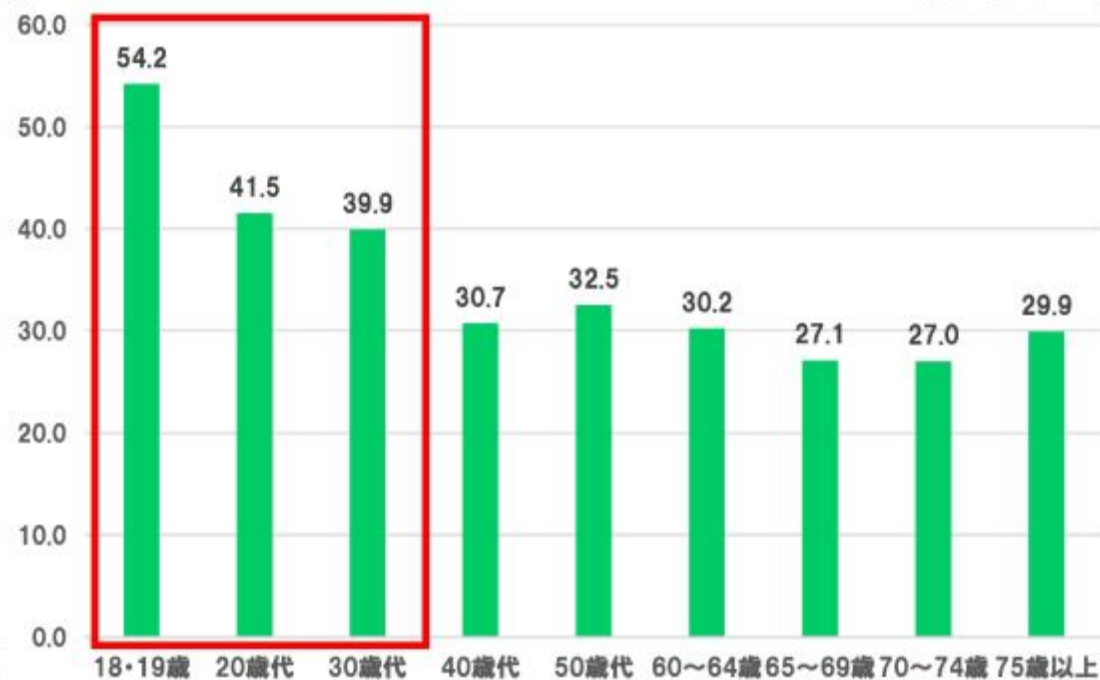
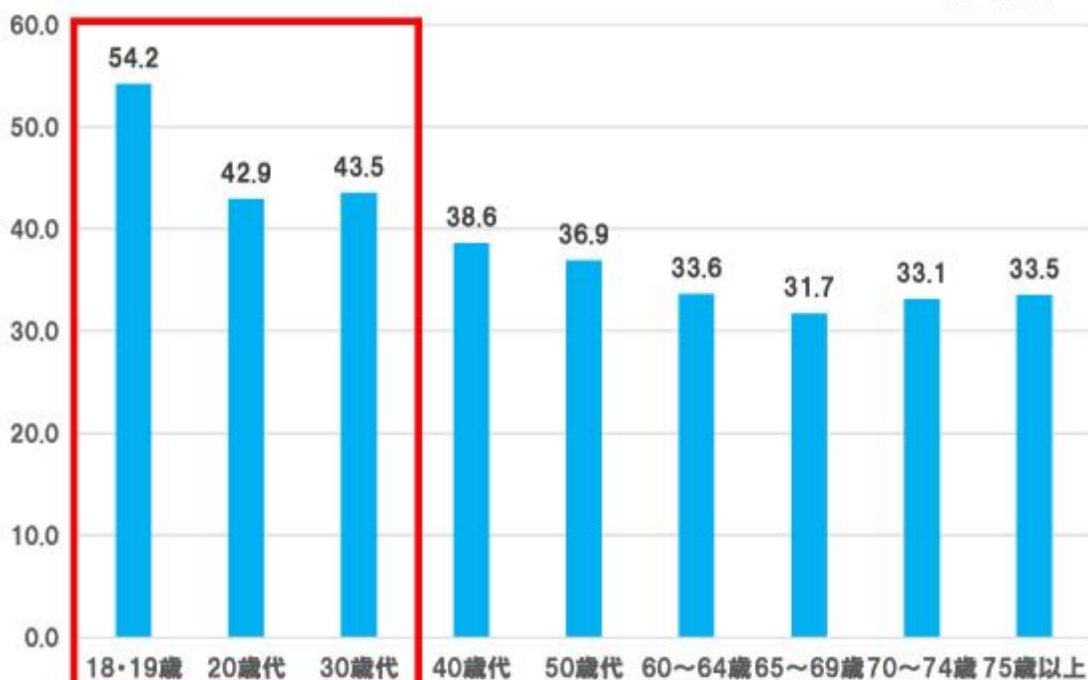
3-3.データに基づく課題

<出展:市民意識調査(2021年)>

年代別に見ると、水・食料ともに備蓄をしていないのは若い世代が上位3位を占めている

年代別の水の備蓄をしていない状況 【図表13】

年代別の食料の備蓄をしていない状況 【図表14】



3-4.データに基づく課題

近年、避難が必要な災害の増加により、避難者数も増加傾向



行政だけでは
対応が困難

災害における避難者数



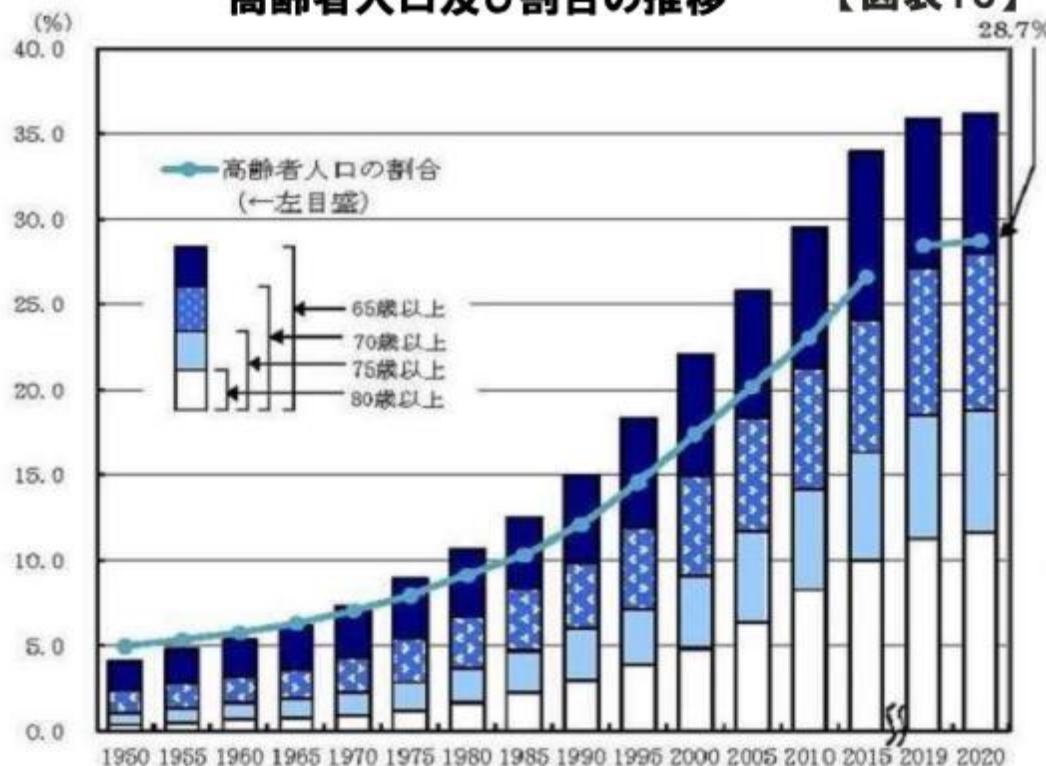
過去最大の避難者

3-5.データに基づく課題

<出展:総務省統計局(2020年)>

日本における高齢者の割合

高齢者人口及び割合の推移 【図表16】



高齢者人口の割合(上位10か国) 【図表17】

順位	国・地域	総人口 (万人)	65歳以上人口 (万人)	総人口に占める 65歳以上人口の割合 (%)
1	日本	12586	3617	28.7
2	イタリア	6046	1409	23.3
3	ポルトガル	1020	232	22.8
4	フィンランド	554	125	22.6
5	ギリシャ	1042	232	22.3
6	マルティニーク	38	8	21.7
7	ドイツ	8378	1817	21.7
8	ブルガリア	695	149	21.5
9	マルタ共和国	44	9	21.3
10	クロアチア	411	87	21.3

3-5.データに基づく課題

自力避難が困難な高齢者や障害者(避難行動要支援者)の現状

東日本大震災では・・・

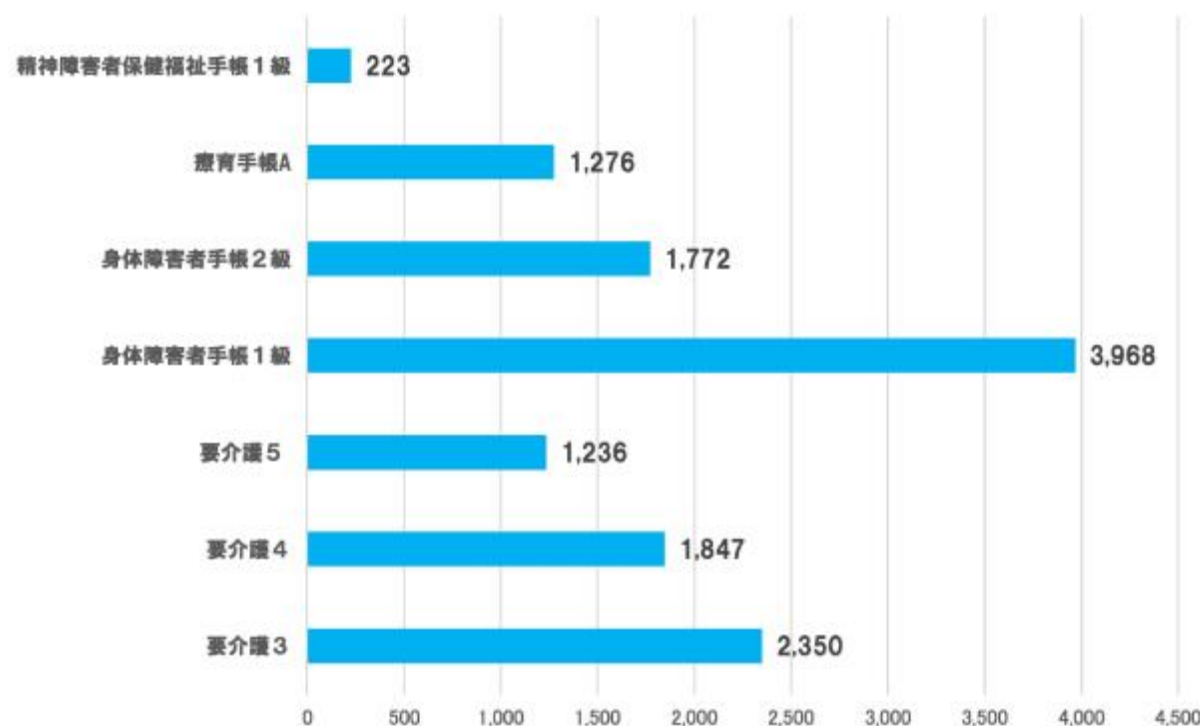
- ・被災地全体の死者数のうち65歳以上の高齢者が約6割
- ・障害者の死亡率は、被災住民全体の死亡率の約2倍



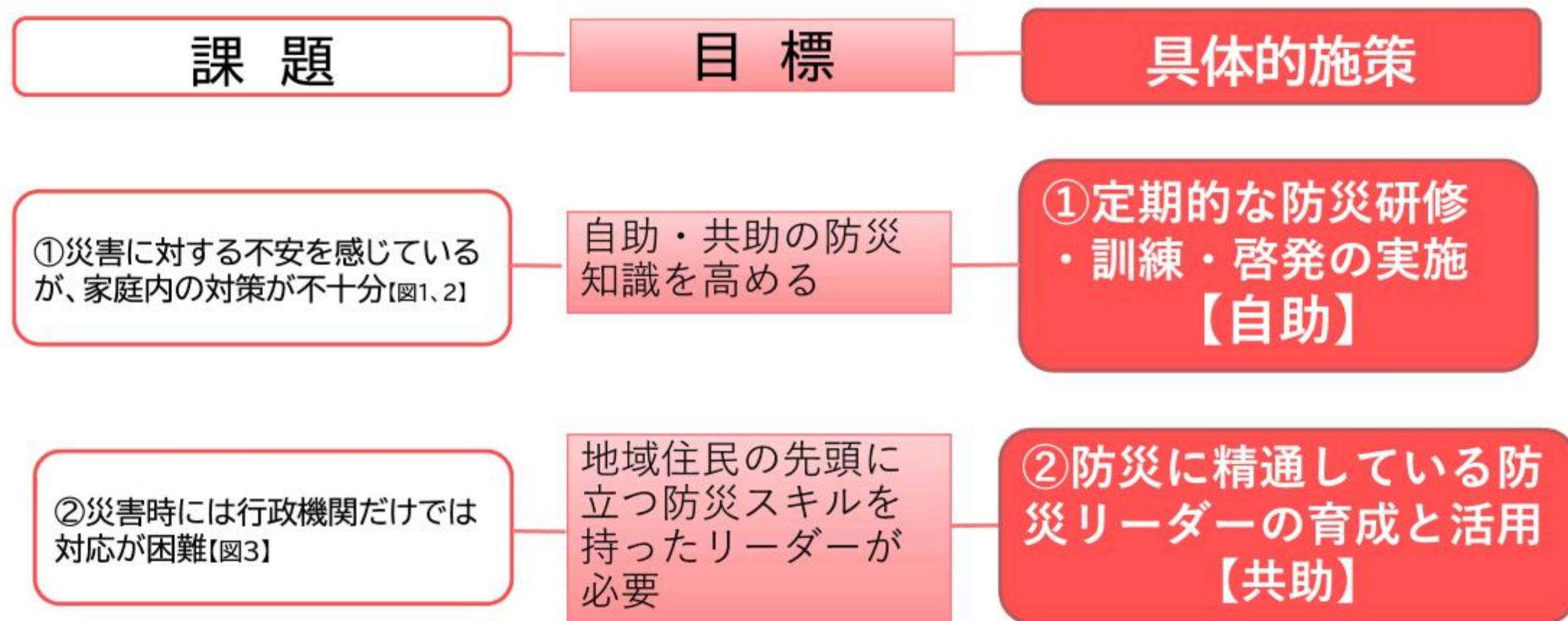
- ・自力による避難が困難な方は災害の犠牲になりやすい
- ・地域で避難する仕組みが必要

避難行動要支援者数

合計12,672人 【図表18】



4-1. 課題解決のための目標と具体的施策



4-2. 課題解決のための目標と具体的施策

課 題

目 標

具体的施策

③避難行動要支援者の把握ができなければ支援が行き届かない
【図4】

要支援者名簿登録
者数を増やす

③避難行動要支援者名
簿の登録促進

④支援する人や避難計画等が具体的に決まっていない地域がある

要支援者情報の共有と個別支援計画
の具体化

④避難行動要支援者個
別支援計画の充実

5-1. レベル別の対策

目 標	ソフト 対 策				ハード 対 策
	分類	国県レベル	市レベル	地域レベル	
自助・共助の防災意識 の高揚	教育・ 啓発		イベントにおける啓発 出前講座 総合防災訓練	出前講座への参加	【行政】 流域治水 プロジェクト の設置
	規制		【SC】 防災研修・訓練・啓発の実施		
	環境整備	災害対策基本法	地域防災計画の策定		
地域住民の先頭に立 つ防災スキルを持った リーダーが必要	教育・ 啓発		自主防災研修・訓練の実施 防災士・防災リーダーが地域で 活躍できる体制の検討	防災士・防災リーダー養成講座 への参加	
	規制		【SC】 防災に精通するリーダーの育成		
	環境整備	災害対策基本法	防災リーダー研修会の実施 防災士資格取得費用の助成 防災スキルアップ研修会の実 施		

5-1. レベル別の対策

目 標	対 策			
	分類	国県レベル	市レベル	地域レベル
要支援者名簿登録者数を増やす	教育・啓発		出前講座（要支援者制度） 校区まちづくり連絡協議会等での説明	出前講座への参加 研修会等への参加
	規制	【SC】避難行動要支援者名簿の登録促進		
	環境整備	災害対策基本法	避難行動要支援者名簿作成・配布 登録対象者への案内文書送付	要支援者への登録勧奨
要支援者情報の共有と個別支援計画の具体化	教育・啓発		名簿を活用した図上訓練の実施 出前講座（自分で行く災害時マイプラン）	図上訓練への参加 出前講座への参加
	規制	【SC】避難行動要支援者個別支援計画の充実		
	環境整備	災害対策基本法	専門職による災害時マイプランの作成 支援	要支援者への日頃からの見守り・声掛け・災害時の避難情報の伝達

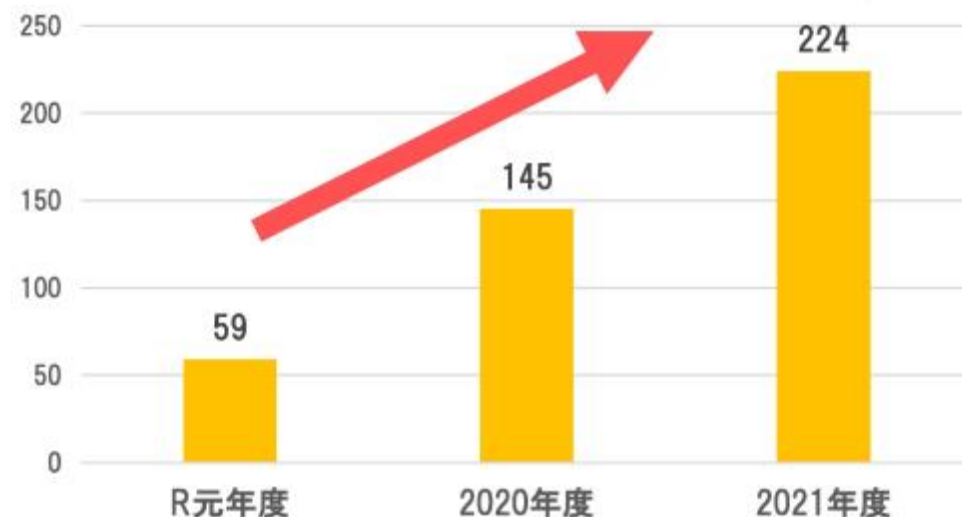
6-1. 具体的施策の紹介・成果

①防災リーダーの育成



久留米市独自のカリキュラムで
防災リーダー養成講座を実施

防災リーダー養成人数(のべ人数)【図表19】



6-2. 具体的施策の紹介・成果

②流域治水推進プロジェクトチームの設置

4年連続で広範囲に
河川の溢水や内水氾濫が発生

降雨の状況

2021年8月11日～19日

- ・総雨量 896.5mm (9日間累計)
- ・1時間最大雨量 72.0mm
- ・24時間最大雨量 387.0mm
- ・48時間最大雨量 572.5mm
- ・72時間最大雨量 718.5mm

観測史上
8月1位

観測史上
最大

流域治水推進プロジェクトでは・・・

- ・貯留施設の整備など、浸水対策及び減災対策につながる新たな施策の検討と実施に向けた調整
- ・既に実施している施策についての進捗状況管理と調整



組織横断的に
浸水対策に取り組む

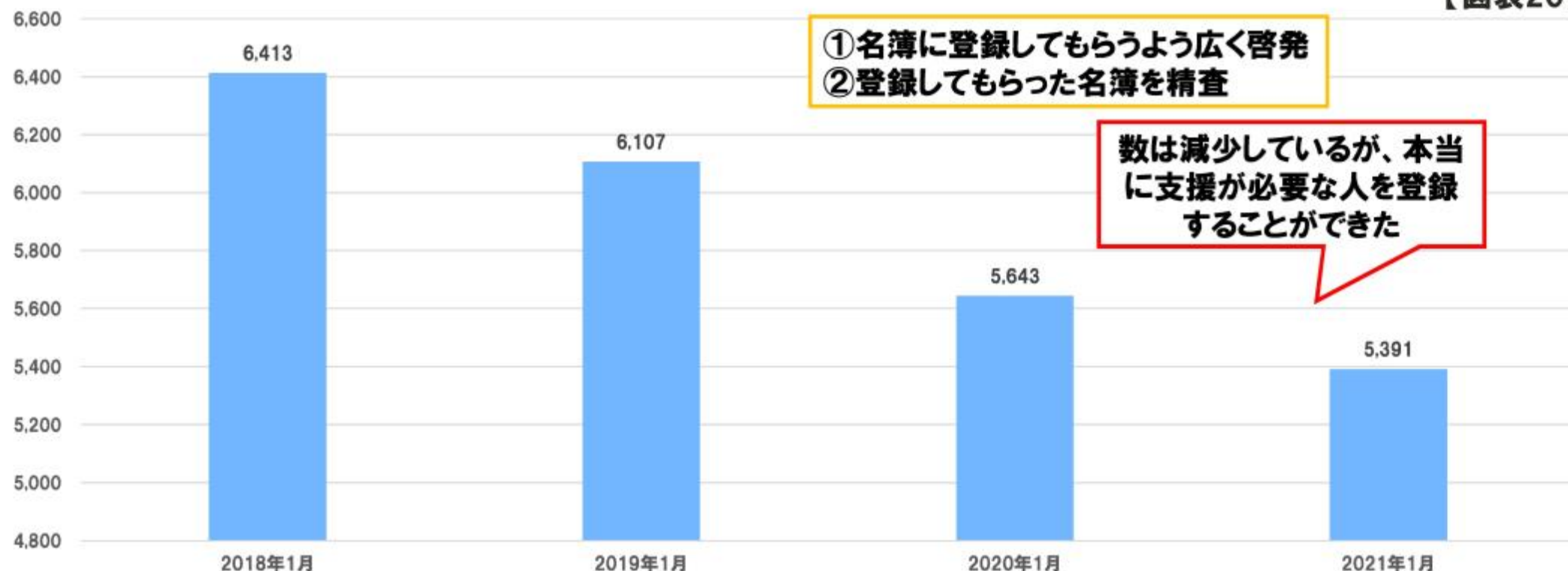
6-3. 具体的施策の紹介・成果

③要支援者名簿の登録促進

<出展：セーフコミュニティに関する実態調査>

避難行動要支援者名簿登録者数

【図表20】



7. コロナ禍の工夫

防災スキルアップ研修会をオンラインで実施

久留米市校区まちづくり連絡協議会や
各校区コミュニティセンターと連携し
2020年度に初めて実施



防災スキルアップ研修参加者数 【図表21】

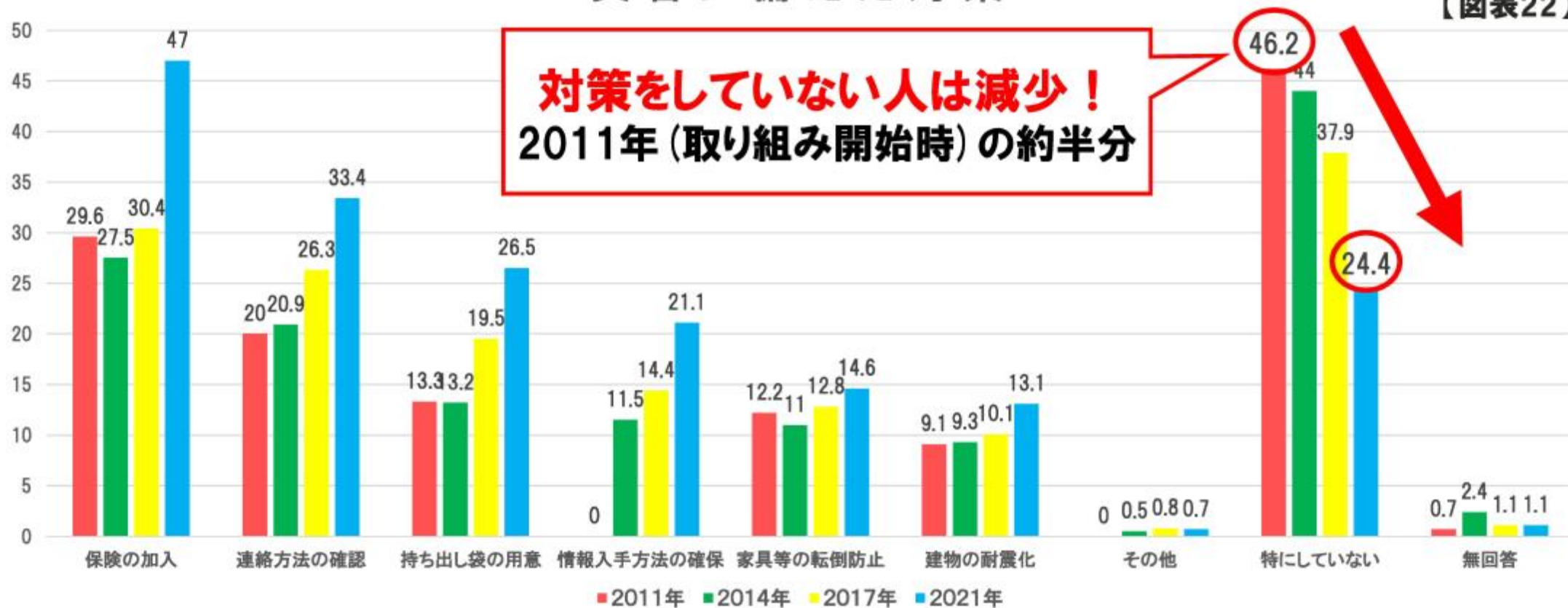


8-1. 取り組みによる全体的な成果

<出展:市民意識調査(2021年)>

災害に備えた対策

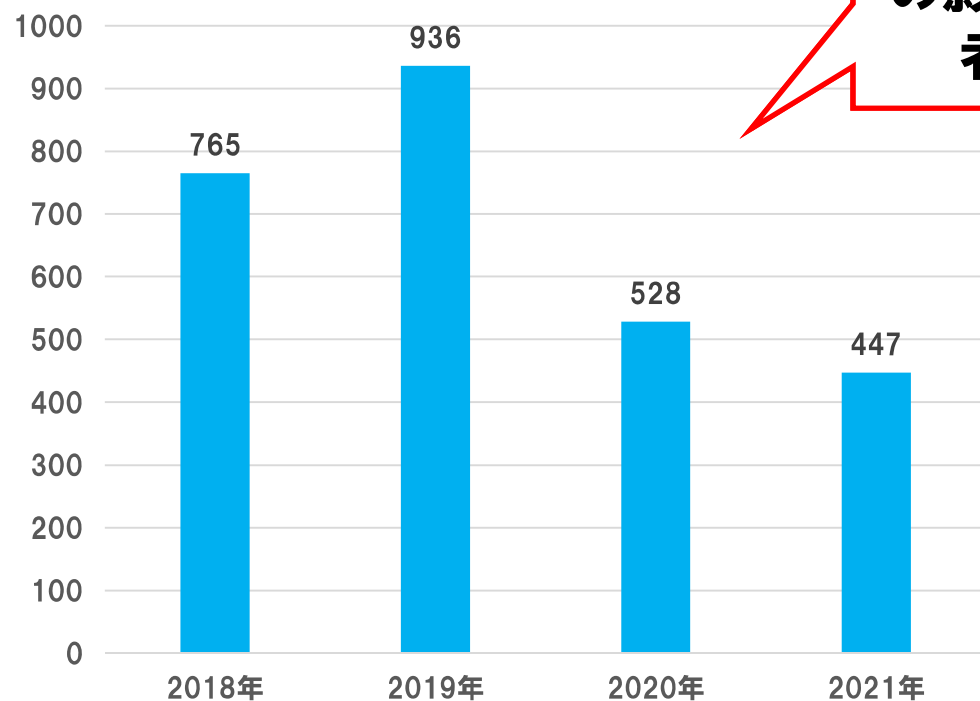
【図表22】



8-3. 取り組みによる全体的な成果

【図表23】

名簿を活用した図上訓練参加者



新型コロナウイルス
の影響により参加
者数が減少

オンラインで
図上訓練を実施



9-1. 再認証取得後の変化・気づき

協働による防災対策の充実

SNSを活用した浸水情報等の投稿を可能とする
「**防災チャットボット**」の導入！

「**防災チャットボット**」とは・・・
専用のLINEアカウントを活用し、被害
情報を投稿・共有するシステム



【メリット】

- ・市内の被害状況を地図上に表示し利用者間で共有できる
→ **わかりやすい情報発信**
- ・LINEを使ってその場で簡単に被害情報を投稿できる
→ **リアルタイムな情報共有**

9-2. 再認証取得後の変化・気づき

取り組みについて

災害時マイプラン作成件数 【図表24】



自らの心身の状況に
合わせたプラン作成の工夫



10. 課題・今後の対応

- ・ 自主防災組織への参加
- ・ 避難行動要支援者の支援
- ・ 避難所運営への協力
- ・ ボランティアへの参加

行政が備える
公助

- ・ ハザードマップの作成
- ・ 災害・避難情報の提供
- ・ ボランティア支援
- ・ 復旧・復興支援

地域で備える
共助

自分で備える
自助

- ・ 防災知識の取得
- ・ 水・食料の備蓄
- ・ 家具の転倒防止
- ・ 避難経路の確認

取り組み強化！



ご清聴ありがとうございました。

防災対策委員会

